取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。

DIGITAL

地上デジタルチューナ DIR810

DXアンテナ製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

●地上デジタル放送専用

本機は、BS デジタル放送、110° CS デジタル放送には対応しておりません。
BS デジタル放送および 110° CS デジタル放送をご覧になる場合は、別途 BS デジタルチューナおよび 110° CS デジタルチューナをお求めください。

本機は、（社）電波産業会（ARIB）の運用仕様に基づいた仕様となっています。その仕様に変更があった場合、本機の仕様を変更することがあります。

主な機能対応	
字幕放送	対応
電子番組表	対応
データ放送	非対応
双方向サービス	非対応
CATVパススルー	対応

※保証書は取扱説明書の最後に記載しています。

7ページをご覧になり付属品が全て同梱されているかお確かめください

TINSJA125AWZZ
0903

もくじ

ご使用の前に

安全にお使いいただくために

ご使用の前に必ずこのページ(3～6)をお読みください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
(絵表示の一例です。)

- ⚠：記号は気をつける必要があることを表しています。
- ⃠：記号はしてはいけないことを表しています。
- ❗：記号はしなければならないことを表しています。

⚠ 警告

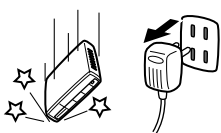
交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

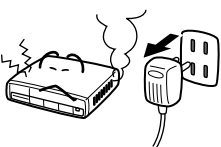
火災・感電の原因となります。

•電源コードに重いものを乗せたり、本機の下敷きにしない
•電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、ひっぱったり、無理に曲げたり、加熱しない

電源コードが傷ついて火災や感電の原因になります。電源コードが痛んだ場合(芯線の露出、断線)は販売店にご相談ください。

本機を落としたりキャビネットを破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様による修理は絶対におやめください。

⚠ 警告

•本機に水がかかったり、ぬれるような使い方をしない
•そばに花瓶など、水の入った容器を本機の上に置かない
•風呂やシャワー室では使用しない

水が本機内部に入ると火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺など屋外での使用は特にお控えください。

本機内部に異物などが入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご連絡ください。

キャビネットを外したり、改造しない

本体の内部をさわると感電や故障の原因となります。修理や内部の点検は販売店にご依頼ください。

本機を不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして本機の故障の原因や、けがの原因となります。水平な場所へ置いてください。

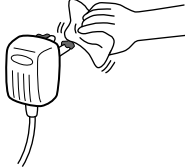
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（つづき）

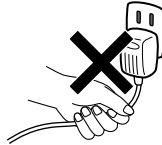
⚠注意

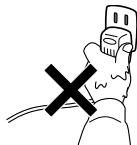
電源プラグの刃などにホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

電源プラグを抜いてホコリや金属物を取り除いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となることがあります

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

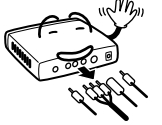
感電の原因となることがあります。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

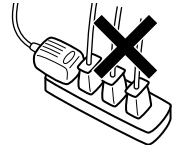
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

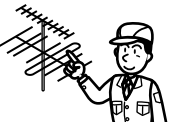
接続線を外さずに移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。

湿気やホコリの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

- 風通しの悪いところに入れない。
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

重いものを本機の上に置いたり、上に乗ったりしない

破損したり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

- 通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
- 本機内部の掃除は販売店に依頼する

⚠内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除については、販売店にご相談ください。

ご注意

- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

乾電池についての安全上のご注意

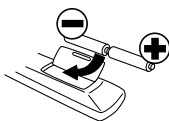
液もれ・破れつ・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠注意

電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意

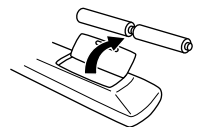
•指定以外の電池を使わない
•新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

•電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
•乾電池は充電しない

電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットなどのお手入れにベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることもありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなどやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多い所や、潮風にさらされる所では、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

守っていただきたいこと

電源・電圧について

- 必ず付属の AC アダプタをお使いください。他の AC アダプタを使われますと故障の原因になります。
- 交流 100V 以外のコンセントは使わないでください。交流 100V 以外のコンセントを使用した場合は、故障の原因となります。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。
- 傾斜のない平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所には設置しないでください。

取扱い上のご注意

- 強い衝撃を与えないようにしてください。振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。
- お子様やペットが、上に乗ったり、何かをぶつけたり、倒したりして衝撃を与えないようご注意ください。落下してけがや破損の原因になることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

使用上のご注意（つづき）

守っていただきたいこと

電磁波妨害に注意してください

• 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

持ち運びのとき

• 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

直射日光・熱気は避けてください

• 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
• 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

• 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。
• 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

• キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

• 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

保存温度：–20℃～ +60℃
使用温度：0℃～ +40℃

長期間ご使用にならないとき

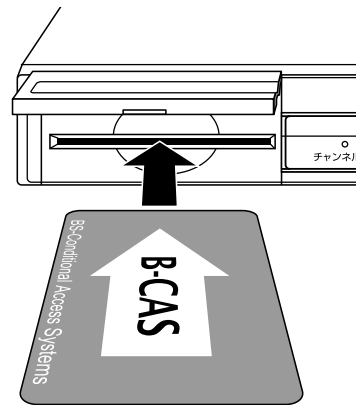
• 長期間使用しないと、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作させてください。

守っていただきたいこと

国外では使用できません

• この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CAS カードはむやみに抜き差ししない

• 必要以上に抜き差しすると故障の原因になることがあります。
• B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
• 本機に差し込むときは、「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、「B-CAS」と書いた矢印が上向きになるように、矢印の方向へカードを本機に挿入してください。

結露（つゆつき）について

• 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

あらかじめご承知ください

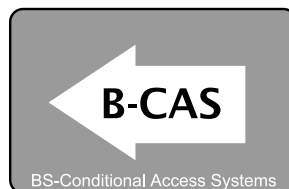
■ お客様がビデオデッキ・DVD レコーダーなどで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 本機の不具合により視聴または録画できなかった場合などの補償については一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。

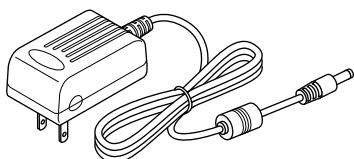
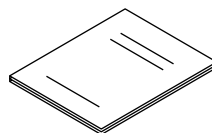
■ 一般家庭以外（業務用の長時間使用、車両・船舶などへ搭載しての使用など）でご使用されますと故障の原因となることがあります。

付属品

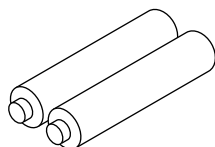
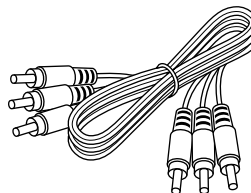
ご使用前に、下記の付属品がすべてそろっているかをご確認ください。

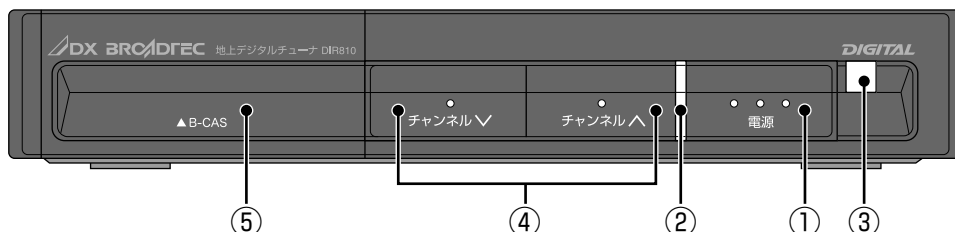
リモコン　1 個

B-CAS カード　1 枚

※ B-CAS カードは B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよく読んでください

AC アダプタ　1 個

取扱説明書（保証書）　1 部

※裏表紙が保証書になっています。

※当製品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan and a manual is available in Japanese only.

単 3 乾電池　2 個〈動作確認用〉

映像・音声コード　1 本

各部のなまえ（本体）

正面

① 電源ボタン
本機の電源を入 / 切します。14 16

② 電源ランプ

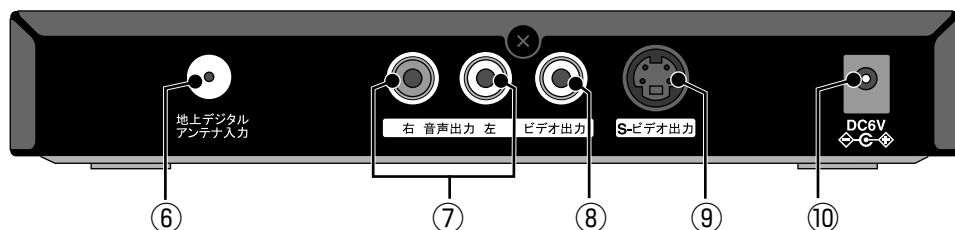
表示	状態
消灯	電源プラグが接続されていない状態
赤色 / 点灯	電源切(待機)状態（スタンバイ状態)
緑色 / 点灯	電源が入っている状態(動作中)
橙色 / 点灯	番組表の情報を取得している状態、またはソフトウェアダウンロード中の状態

- 故障の原因となりますので、電源ランプが橙色点灯中(番組表情報取得中、またはソフトウェア ダウンロード中)は電源プラグを抜かないでください。

③ リモコン受光部
リモコンの信号を受信します。

④ チャンネル ∧ / ∨ ボタン
チャンネルを選択します。16

⑤ B-CAS カードふた・B-CAS カードスロット
B-CAS カード(付属)を挿入します。
(B-CAS カードを入れる 12)

背面

⑥ アンテナ入力端子
地上デジタル放送アンテナケーブルを接続します。（アンテナをつなぐ 11 ）

⑦ 音声出力端子
付属の映像・音声コードを使ってテレビの音声入力端子と接続します。
（テレビをつなぐ 11 ）

⑧ ビデオ出力端子
付属の映像・音声コードを使ってテレビの映像入力端子と接続します。
（テレビをつなぐ 11 ）

⑨ S-ビデオ出力端子
S 映像入力端子のあるテレビなどを接続する場合に使います。（テレビをつなぐ 11）

⑩ 電源入力端子
付属の AC アダプタを接続します。
（電源をつなぐ 12 ）

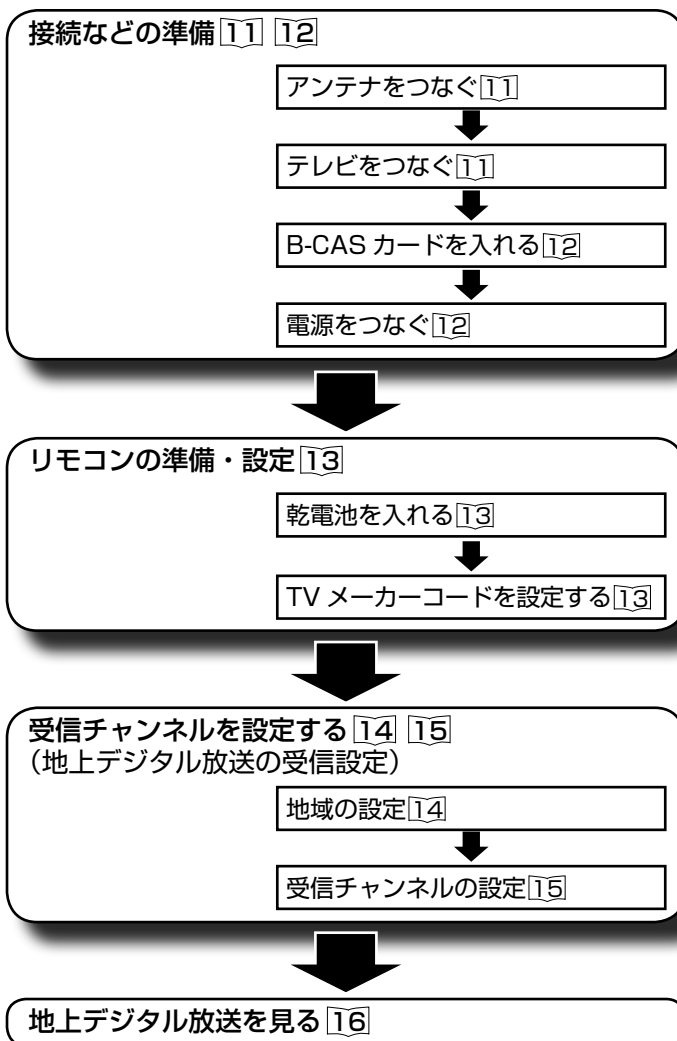
各部のなまえ(リモコン)

※　　　　　　　ボタンはテレビを操作するためのボタンです。
このボタンでテレビを操作するには、TV メーカーコードの設定が必要です。
(TV メーカーコードを設定する 13)
また、このボタンの操作時はご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
(本体のリモコン受光部に向けて操作しても動作しません。)

操作の流れ

地上デジタル放送を見るための準備

本機を使って地上デジタル放送を見る場合、最初に 1 回だけ準備操作が必要です。

準備操作の流れ

地上デジタル放送を見る

準備操作がすでに済んでいる場合は、地上デジタル放送を見る 16 の操作を行ってください。

地上デジタル放送を見る 16

地上デジタル放送を見るための準備

本機を使って地上デジタル放送を見る場合、最初に 1 回だけ準備操作が必要です。以下の手順でテレビ機器と接続し、受信チャンネルを設定します。

接続などの準備

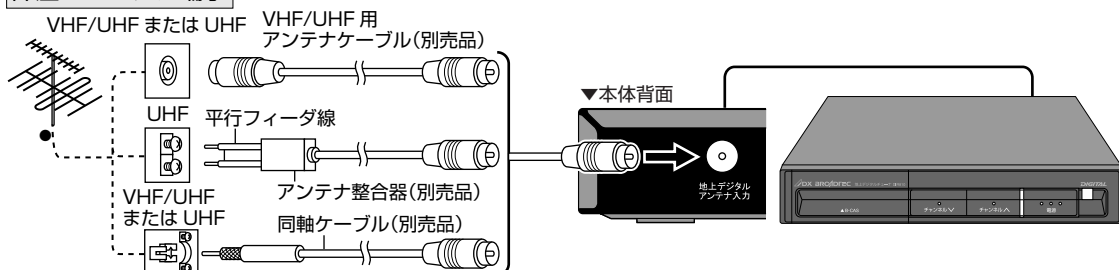
アンテナをつなぐ

■ 地上デジタル放送の受信には、UHF 対応のアンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。(一部取り換えや調整が必要な場合もあります。また、地域によってはブースタの追加などが必要になることがありますので詳しくは販売店にご相談ください。)

■ 地上デジタル放送を CATV パススルーで受信する場合も、UHF アンテナと同じ接続をします。CATV による地上デジタル放送の受信については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。

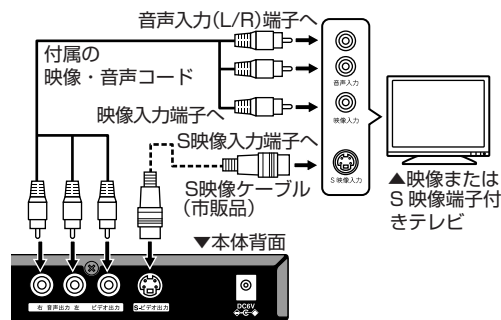
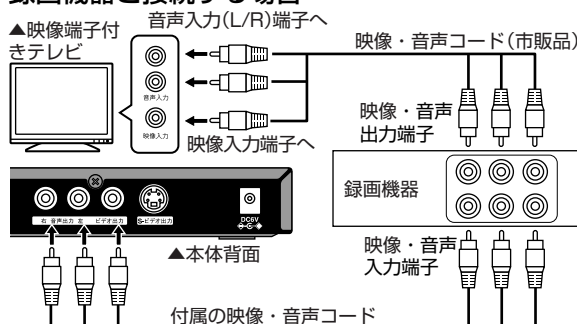
メ モ

● CATV パススルーとは：地上デジタル放送を CATV 局経由で再送信することです。CATV 局において、元の放送電波とおなじ周波数を使って再送信する場合と、元の放送電波とは異なる周波数を使って再送信する場合があります。なお、トランスモジュレーション方式(アナログ放送などに変換する方式)には対応しておりません。

部屋のアンテナ端子

お知らせ

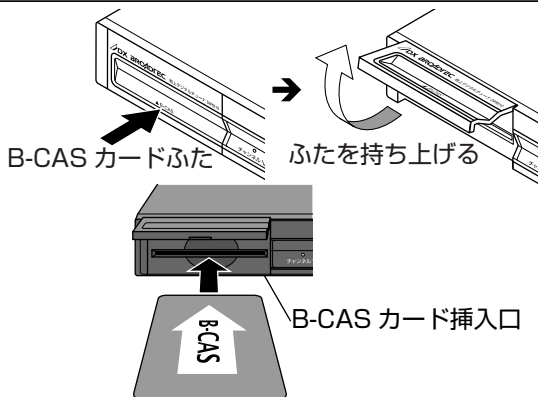
● VHF/UHF の屋内アンテナ端子が別れている場合など、混合器の取付が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
● お住まいの地域が、地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お近くの電器店または「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」(電話 0570-07-0101)にご相談ください。

テレビをつなぐ

■ 付属の映像・音声コードで本機とテレビの映像端子・音声端子を接続します。
■ S 映像端子付きテレビをご使用の場合、S 映像ケーブル(市販品)で本機とテレビの S 映像端子を接続することもできます。このとき、映像端子を接続する必要はありません。

録画機器と接続する場合

B-CAS カードを入れる

本機の電源が切れていることを確認してください

B-CAS カードふたを上に持ち上げて開けます

B-CAS カードを表面の矢印の方向に差し込みます（奥まで確実に差し込みます）

お知らせ

B-CAS カードについて

- B-CAS カードには視聴情報などが記録されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人がお客様の B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも視聴料はお客様の口座に請求されます。
- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります（2009 年２月現在）。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先は B-CAS カードに記載されております。）

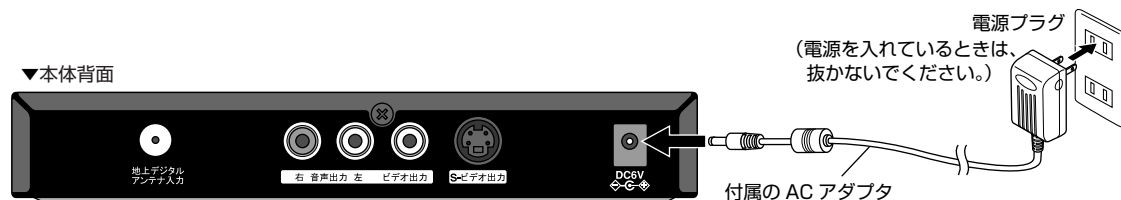
お知らせ

B-CAS カード取り扱い上のご注意

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- カードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの金属部分（集積回路）には手を触れないでください。
- 分解、加工しないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CAS カードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機を電源コンセントに接続しない状態で、ゆっくりと抜いてください。
- B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差ししないでください。

電源をつなぐ

■ 本体背面の電源入力端子に AC アダプタを接続してから家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。
■ 電源が正しく接続されると、本機は電源切（待機）状態になり、電源ランプ 8 が赤く点灯します。

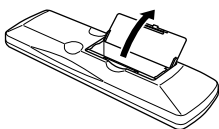
▼本体背面

電源の接続について

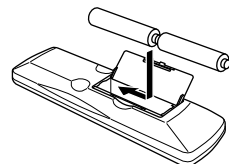
- 本機は電源切（待機）状態でも電波を受信し、番組表の情報を更新したり、ソフトウェアダウンロードを行っている場合がありますので、電源プラグをコンセントに接続したままでご使用になることを推奨します。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに初期設定の状態に戻り、受信設定の内容が消去される場合があります。このような場合は、地上デジタル放送の受信設定 14 を行ってください。

リモコンの準備・設定

乾電池を入れる

1 カバーを開けます

ツメを押しながら、カバーを矢印の方向に外します。

2 単3型乾電池を入れ、カバーを元通りに閉めます

⊕⊖の表示どおりに入れてください。

TV メーカーコードを設定する

本機のリモコンでテレビを操作する

TV メーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。
※あらかじめ登録されている TV メーカー以外は対応していません。

メーカーコード設定のしかた

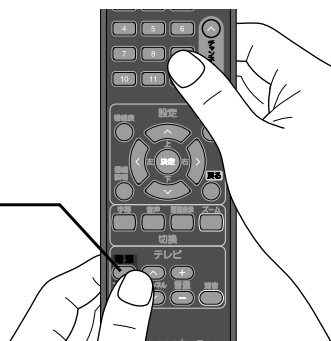
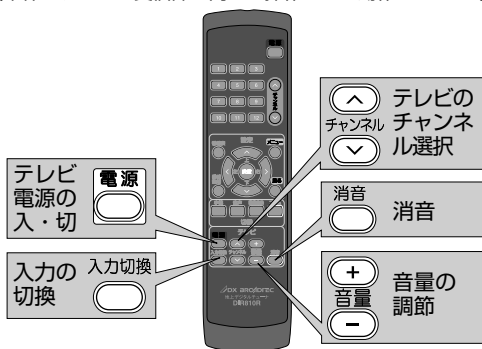
1 リモコンの 電源 (テレビ用)を押しながら、

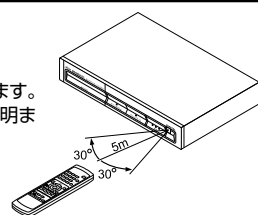
2 ご使用のテレビにあった TV メーカーコードのボタンを５秒間押し続けます。

TV メーカー	TV メーカーコード	TV メーカー	TV メーカーコード
DX１	1	日本ビクター	9
DX２	2	ソニー	10
DX３	3	三菱	11
シャープ１	4	日立	12
シャープ2	5	東芝	音声
シャープ3	6	パイオニア	字幕
パナソニック(松下)1	7	三洋１	番組説明
パナソニック(松下)2	8	三洋2	番組表

※ DX は DX BROADTEC の略称です。
※ FUNAI 製テレビをお使いの場合は、上記メーカーコードの DX1、DX2、DX3 のいずれかが使える場合があります。
※ 上記メーカーのテレビでも、機種によっては対応できない場合があります。

3 電源 (テレビ用)を離します

設定後は 電源 (テレビ用)を押してテレビの電源を入・切できるか確認してください。

下記のボタンでテレビの操作が行えます。
テレビを操作するときは、ご使用のテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
（本体のリモコン受信部に向けて操作しても動作しません。）

使用上のご注意

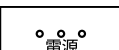
■リモコンは本体、またはテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。
■リモコンには衝撃を与えないでください。
　また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
■リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり､放置しないでください。熱により変形することがあります。
■本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。

お知らせ

・付属の乾電池は、保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
・長時間使用しないときは､乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

受信チャンネルを設定する

地上デジタル放送の受信設定

地上デジタル放送を受信するための受信チャンネルを設定します。
地域設定 14、受信チャンネルの設定 15の順に操作を行ってください。

準　備

●はじめにアンテナをつなぐ 11、テレビをつなぐ 11をご覧になり、アンテナの接続、テレビとの接続を行ってください。

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機をテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるようにテレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

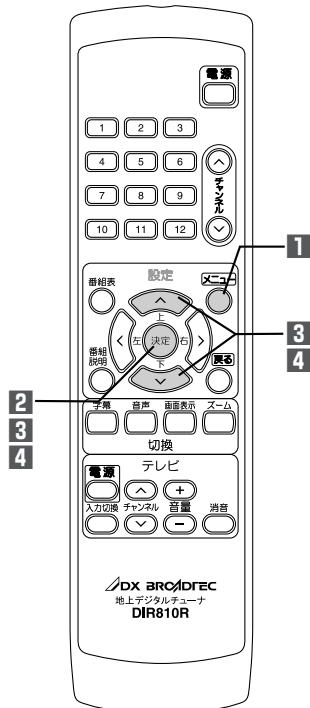
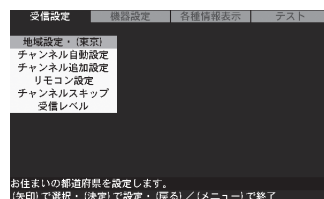
TV メーカーコード設定 13 をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

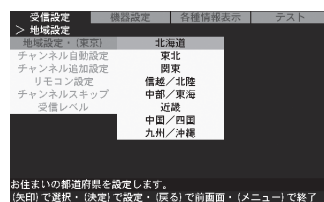
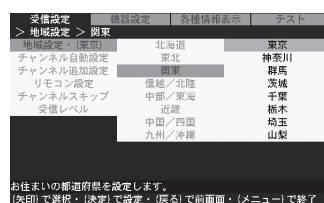
リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

地域の設定

ご使用になる地域を設定します。

1 ［メニュー］ボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 ［上下左右］で「受信設定」の「地域設定」を選び、［決定］ボタンを押す

地域の一覧が表示されます。

3 ［上下］で地域を選び、［決定］ボタンを押す

［決定］ボタンを押すと、選択した地域の都道府県または支庁の一覧が表示されます。

4 ［上下］で都府県(または支庁)を選び、［決定］ボタンを押す

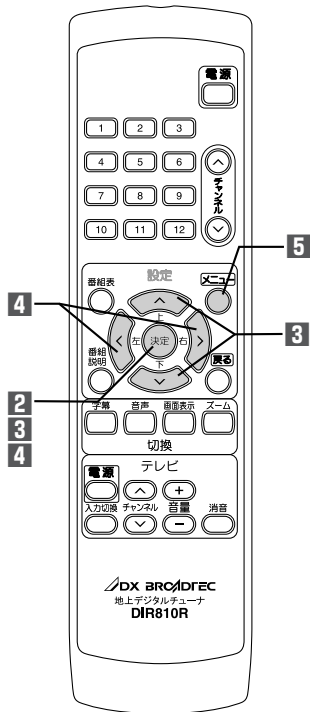
引き続き、次ページの受信チャンネルの設定を操作してください

お知らせ

- 実際と異なる地域を設定した場合、チャンネルが正しく設定されない場合があります。

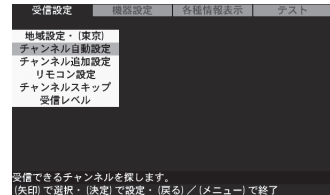
地上デジタル放送の受信設定 (つづき)

受信チャンネルの設定

お住まいの地域で受信できる各放送局を自動的に検索し、視聴可能なチャンネルを設定します。

1 前ページの「地域設定」から継続して操作します

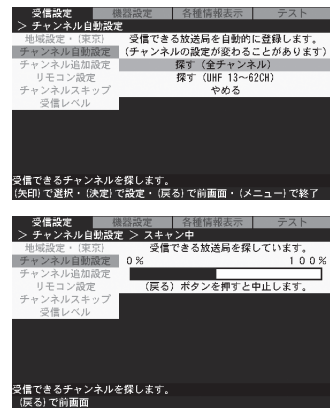
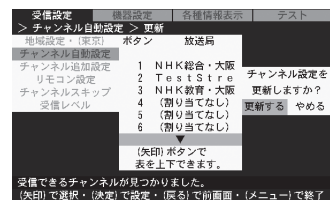
「設定メニュー」が表示されていない場合は、メニュー ボタンを押して「設定メニュー」を表示してください。

2 (上下左右)で「受信設定」の「チャンネル自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル検索方法選択画面(手順3)が表示されます。

3 (上下)で「探す(全チャンネル)」を選び、決定ボタンを押す

通常は、「探す(全チャンネル)」を選択します。

受信できる放送局を自動的に検索します

4 (左右)で「更新する」を選び、決定ボタンを押す

(上下)で見つかった放送局の一覧表を上下して確認できます。
見つかった放送局はリモコンのチャンネル(数字)ボタン 1 ～ 12 に自動的に割り当てられます。

5 メニュー ボタンを押して操作を終了する

お知らせ

- 手順3で「やめる」を選択すると、チャンネルの検索をせずに「チャンネル自動設定」を終了します。
- 手順4で「やめる」を選択すると、自動検索されたチャンネルの視聴設定をせずに「チャンネル自動設定」を終了します。

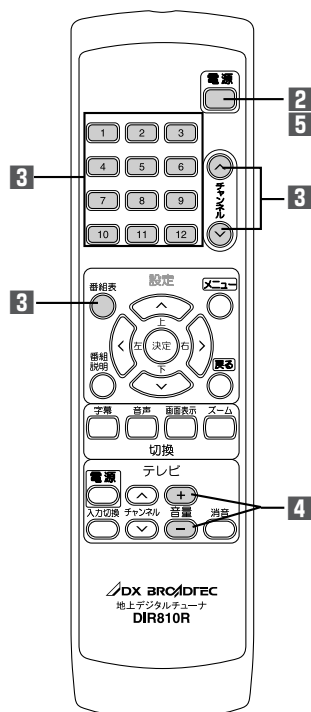
お知らせ

- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。
アンテナをつなぐ 11 をご参照になり、アンテナの接続をご確認ください。

お知らせ

- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合、再度同様の操作を行って、受信放送局を追加する必要があります。

地上デジタル放送を見る

通常の操作はリモコンで行います。本体前面に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

1 テレビの電源を入れ、入力を切り換えます

例えば、本機がテレビの「ビデオ 1」端子に接続しているときは、テレビの画面に「ビデオ 1」と表示されるように、テレビの入力を切り換えてください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

TV メーカーコード設定13をすれば、付属リモコンを使ってテレビの電源入・切、テレビの入力切換、テレビの音量調節などの簡単なテレビ操作ができます。

2 本機の電源を入れます

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押します。

本体前面の電源ランプが赤から緑点灯になり、電源が入ります。

3 チャンネルを選びます

本機では３通りのチャンネルの選択方法があります。

1) リモコンのチャンネル(数字)ボタン［1］～［12］で選ぶ
見たい放送局のチャンネル番号を押します。

2) リモコンまたは、本体のチャンネル ⌃／⌄ボタンで選ぶ
押すごとにチャンネルが変わります。

3) 電子番組表(EPG)で選ぶこともできます。
電子番組表(EPG)を表示する17をご参照ください。

4 音量を調節します

テレビを操作して音量を調節します。

※ TV メーカーコード設定13をしている場合は、付属リモコンの TV 音量［＋］／［－］ボタンを使って音量を調節できます。

5 電源を切ります

リモコンの［電源］ボタンまたは本体の［電源］ボタンを押すと電源切(待機)状態となり、電源ランプが緑から赤点灯に変わります。

地上デジタル放送の３桁チャンネル番号について

- 地上デジタル放送では、リモコンのチャンネル(数字)ボタン［1］～［12］に対応した３桁のチャンネル番号がつけられています。番組表などには、この３桁チャンネル番号が表示されます。通常は３桁のチャンネル番号の上位２桁の値がリモコンのチャンネル(数字)ボタンと一致するようなチャンネルの割り当てになります。
例えば、３桁チャンネル番号が「021」ならば、リモコンのチャンネル(数字)ボタンの［2］に割り当てられます。
- ３桁チャンネル番号は、放送地域内では、それぞれ放送局ごとに異なった番号が割り当てられています。隣接する他の地域の放送局が受信できる場合で同じ３桁チャンネル番号の放送局が複数受信できる場合は、他の地域の放送局が、リモコンのチャンネル(数字)ボタンの空き番号に割り当てられます。

ご参考

一つの放送局から複数の番組を同時に放送する場合

- 地上デジタル放送では、一つの放送局が複数の番組を同時に放送することがあります。このような場合は、同時に放送されるそれぞれの番組に、「021」「022」のような、1 の位の数字だけが異なる３桁チャンネル番号が割り当てられます。
- このような場合は、チャンネル ⌃／⌄ ボタンで番組を選ぶことができます。

ご参考

チャンネル(数字)ボタン［1］～［12］について

- 本機では、受信チャンネルの設定15において、16局までの放送局が登録できます。放送局が 12以上見つかった場合は、チャンネル(数字)ボタン［1］～［12］に割り当てられない放送局がありますので、このような場合は、チャンネル ⌃／⌄ ボタンを使ってチャンネルを選択してください。

便利な機能

電子番組表(EPG)を表示する

電子番組表(EPG)は、新聞のテレビ欄のような番組一覧を表示する機能です。
本機の電子番組表(EPG)では、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。電源プラグをコンセントに接続した直後などで、番組表データ報が取得できていないときは、「データ取得中です。しばらく待って操作してください」と表示されます。このような場合は、1 分ほど待って操作をやり直してください。

1 番組表ボタンを押す

現在の時刻から 3 時間先までの番組が表示されます。

2 上下左右で番組を選ぶ

当日を含む 3 日分の番組情報をみることができます。

●番組を選び、決定ボタンを押すとそのチャンネルに切り換わります。

●番組を選び、番組説明ボタンを押すと番組詳細が表示されます。

3 番組表ボタンを押して操作を終了する

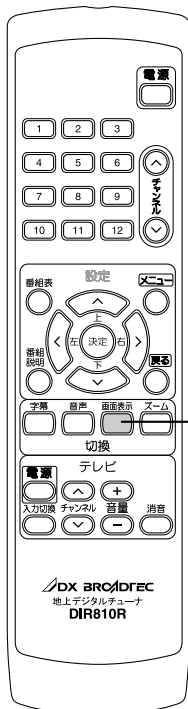
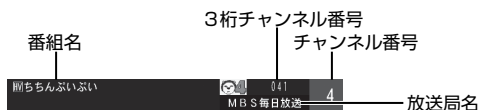
お知らせ

- 受信状態によっては、番組表データを取得できない場合があります。その場合は、選んだ番組名の欄に<データがありません>と表示されます。
- 地上デジタル放送を視聴しているときは、視聴しているチャンネルの番組内容のみが更新されます。
- 「設定メニュー」の「機器設定」—「番組表取得設定」において、「取得する」を設定すれば、本機の電源が電源切(待機)状態中(赤色点灯)に、番組表データが更新されます。
- 電源プラグをコンセントから抜くと、取得した番組表データが消去されます。

メ モ

放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

番組内容表示

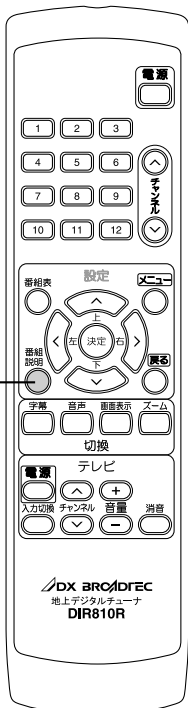
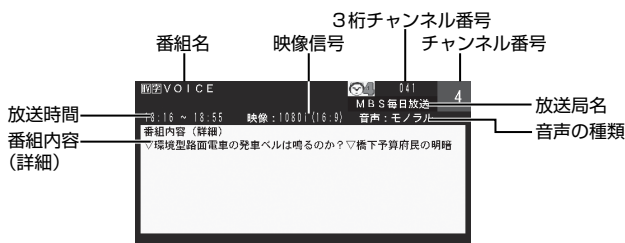
視聴中の番組名、放送局名、チャンネル番号などを表示します。

1 画面表示ボタンを押す

番組内容表示は約 5 秒後に自動的に消えます。

2 画面表示ボタンを押して操作を終了する

メモ

放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

番組詳細表示

地上デジタル放送の番組データを利用し、視聴中の番組名や内容、放送時間、映像信号、音声の種類などの情報を表示することができます。

1 番組説明ボタンを押す

番組詳細表示は約 15 秒後に自動的に消えます。

2 番組説明ボタンを押して操作を終了する

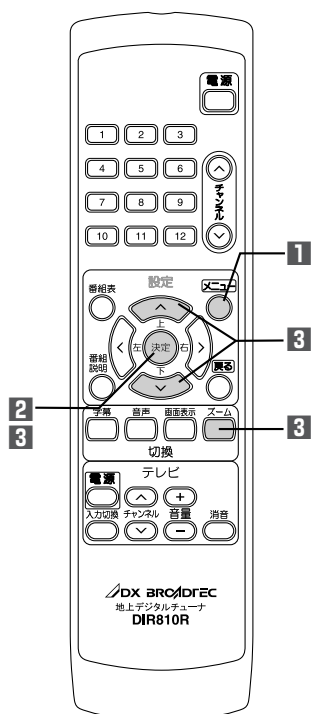
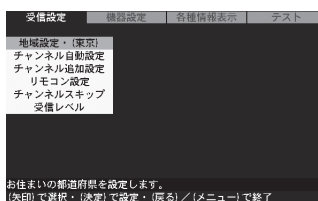
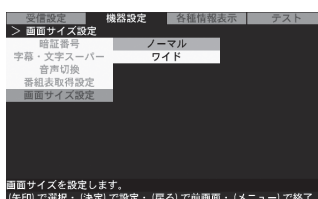
メモ

放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

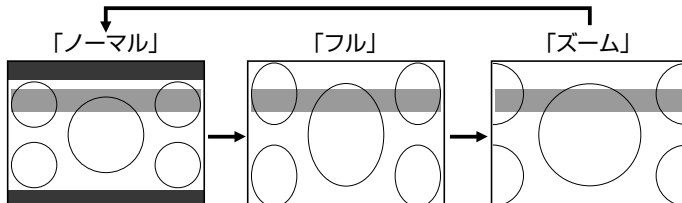
便利な機能

画面サイズ設定

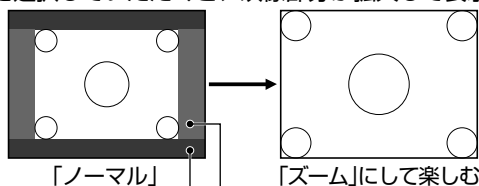
お使いのテレビに合わせて、地上デジタル放送の画面サイズを切り換えることができます。

画面のサイズを設定する

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右で「機器設定」の「画面サイズ設定」を選んで、決定ボタンを押す

3 上下で「ノーマル」または「ワイド」を選び、決定ボタンを押す

通常サイズ(4：3)のテレビをお使いの場合は、「ノーマル」を、ワイド(16：9)テレビをお使いの場合は、「ワイド」を選んでください。

「ノーマル」を選んだ場合は、ズームボタンを押してお好みの画面サイズを選ぶことができます。

「ノーマル」：元の映像(16：9)の上下に黒帯をつけて表示します。
通常(4：3)のテレビの場合に、元の映像の縦横比が守られます。
「フル」：元の映像(16：9)を上下に引き伸ばして画面全体に表示します。
通常(4：3)のテレビの場合に、縦長の映像になります。
「ズーム」：元の映像の中央部分を上下左右に引き伸ばします。
※「ワイド」を選んだ場合は、ズームボタンを押しても画面サイズは切り換わりません。

- 本機の画面サイズ切り換え機能を使う場合、お使いのテレビの縦横比とテレビ番組の縦横比が異なる組み合わせを選びますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面サイズをお選びください。
- 放送を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において本機の画面サイズ設定機能を利用して画面の引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

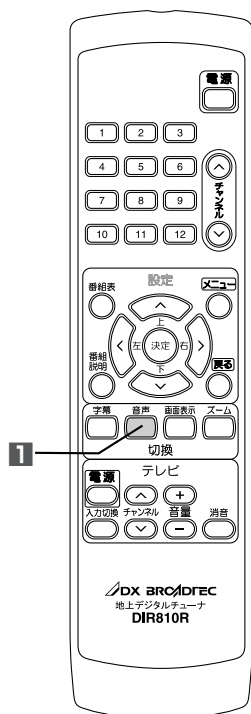
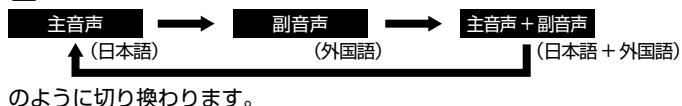
16：9 映像で左右に映像がない、または、黒帯のある映像の場合「ズーム」を選択していただくと、映像部分が拡大して表示されます。

音声切換

多重音声放送の視聴中に、主音声、副音声などの音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声ボタンを押す

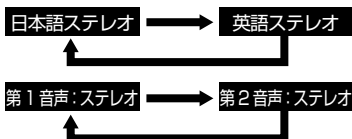
音声ボタンを押すたびに、

主音声（日本語） → 副音声（外国語） → 主音声＋副音声（日本語＋外国語）

のように切り換わります。

お知らせ

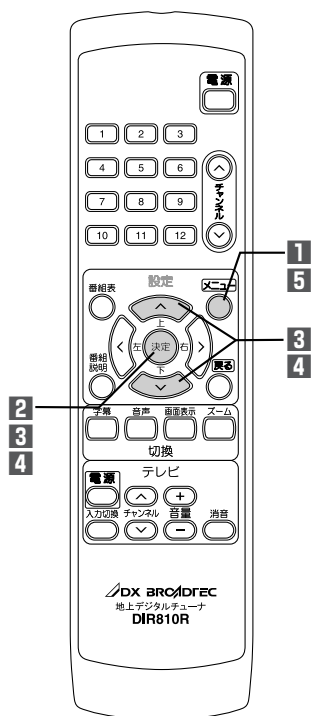
- 番組によっては「主音声」と「副音声」が同じ音声の場合があります。
- 「主音声」、「副音声」、「主＋副」の切り換えは、「設定メニュー」の「機器設定」―「音声切換」からも操作できます。
- 地上デジタル放送では、切り換えられる音声の種類と数は番組により異なります。
  このような場合は、音声を切り換えた際の画面表示も番組にあわせて

  日本語ステレオ → 英語ステレオ

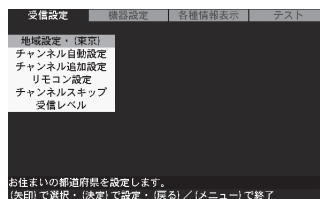
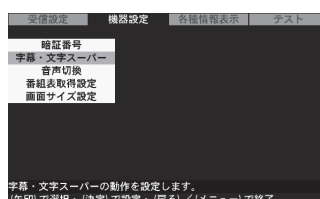
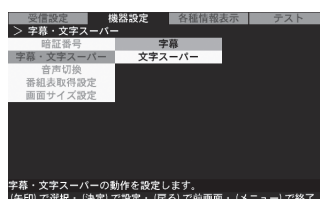
  第１音声：ステレオ → 第２音声：ステレオ

  のような表示になる場合があります。
  音声の種類は、番組詳細表示 18 で確認できます。

字幕を表示する

字幕放送の視聴中に字幕を表示します。また、複数の言語の字幕がある場合は表示される字幕の言語を選択することができます。

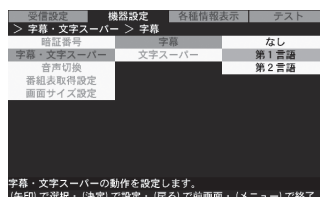
メニュー操作で切り換える場合

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

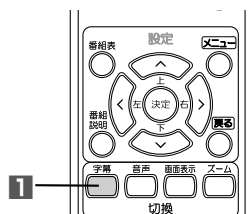
2 上下左右で「機器設定」の「字幕・文字スーパー」を選び、決定ボタンを押す

3 上下で「字幕」を選び、決定ボタンを押す

4 上下で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

「なし」：字幕の表示なし（工場出荷時の設定）

「第 1 言語」：日本語

「第 2 言語」：英語など

5 メニューボタンを押して操作を終了する

字幕ボタンで切り換える場合

1 字幕ボタンを押す

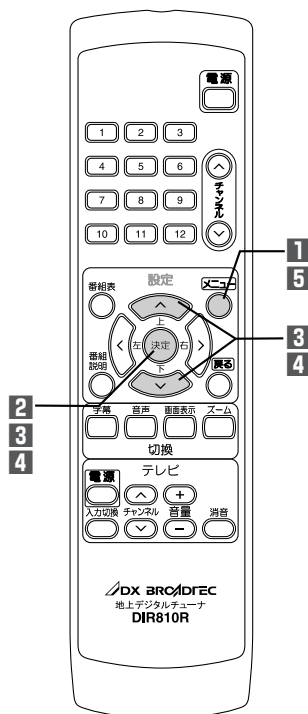
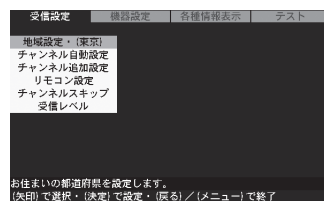
字幕放送に対応した番組を視聴中は、字幕ボタンを押すたびに、

のように切り換わります。
番組によっては、第２言語の字幕がない場合もあります。

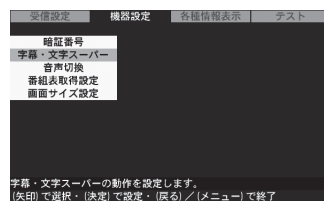
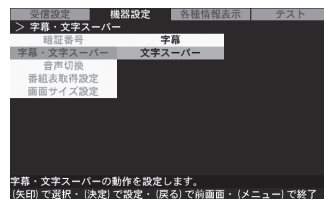
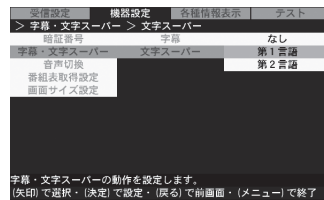
・字幕放送に対応していない番組を視聴中に字幕ボタンを押した場合は「字幕なし」と表示されます。

便利な機能

文字スーパーを表示する

ニュース速報などの情報が文字スーパーとして送信されることがあります。
また、表示される言語を選択することができます。

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右ボタンで「機器設定」の「字幕・文字スーパー」を選び、決定ボタンを押す

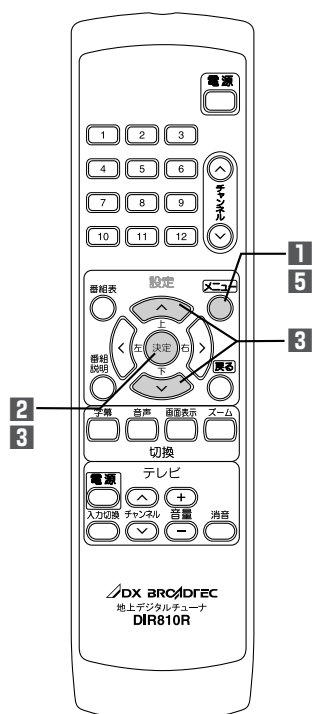
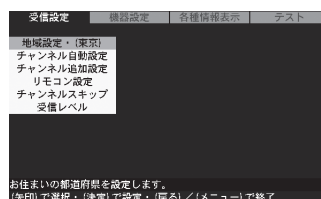
3 上下左右ボタンで「文字スーパー」を選び、決定ボタンを押す

4 上下左右ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

「なし」：文字スーパーの表示なし
「第 1 言語」：日本語
（工場出荷時の設定）
「第 2 言語」：英語など

5 メニューボタンを押して操作を終了する

文字スーパーの設定を「なし」に設定していても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指定された文字スーパーを受信した場合は、これを表示します。

その他の機能

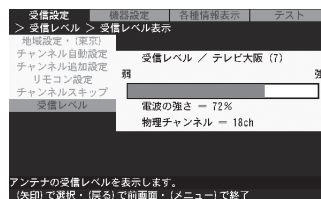
受信レベルを確認する

各放送局の受信状態の目安（受信の品質）を確認します。（電波の強さを表すものではありません。）
受信レベルを確認する場合は、事前に地域の設定 14、受信チャンネルの設定 15をする必要があります。

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右ボタンで「受信設定」の「受信レベル」を選び、決定ボタンを押す

現在受信可能なチャンネル一覧が表示されます。

3 上下左右ボタンで確認したい放送局を選び、決定ボタンを押す

4 画面に表示される受信レベルを確認する

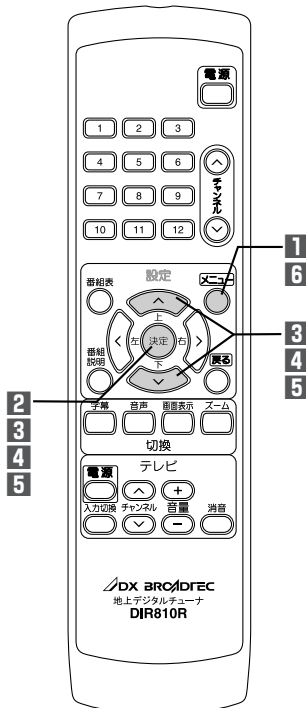
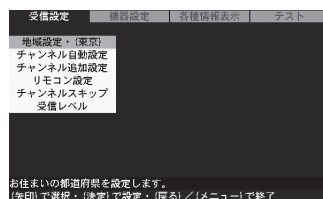
- 赤色→映像が正常に映りにくい受信レベル（0 ～ 39%）
- 黄色→ほぼ正常に映る受信レベル（40 ～ 59%）
- 緑色→正常に映る受信レベル（60 ～ 100%）

5 受信レベルの確認が終わったら、メニューボタンを押して操作を終了する

- 表示される「受信レベル」は、アンテナの方向調整などにお使いいただくためのもので、絶対的な電波の強さを示すものではありません。

お知らせ

- 手順4において受信レベルが赤色で表示され、画面にモザイク（四角いノイズ）が出る場合や、「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」と表示される場合は、アンテナの方向やアンテナケーブルの状態を確認してください。受信レベルが上がらない場合は、販売店などにご相談ください。

チャンネルボタンの登録を手動で変更する

リモコンのチャンネル(数字)ボタン［1］〜［12］に設定されているチャンネル(放送局)の登録をお好みの設定に変更することができます。

1 (メニュー)ボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 (上下左右)で「受信設定」の「リモコン設定」を選び、(決定)ボタンを押す

チャンネル(数字)ボタンと現在割り当てられている放送局の一覧が表示されます。

3 (上下左右)で変更したいチャンネル(数字)ボタンの番号を選び、(決定)ボタンを押す

決定ボタンを押すと、放送局の選択画面が表示されます。

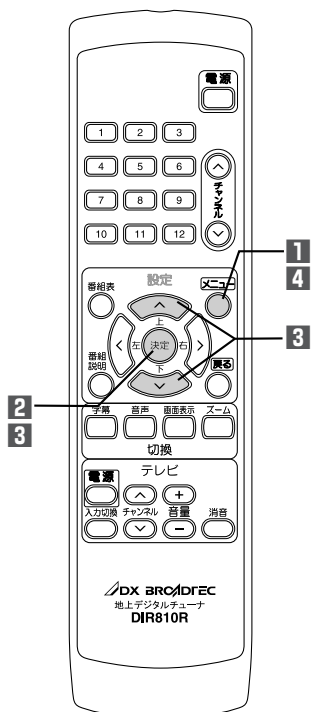
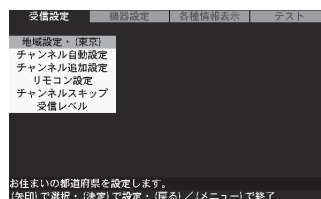
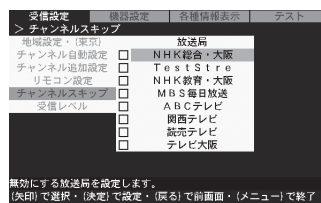
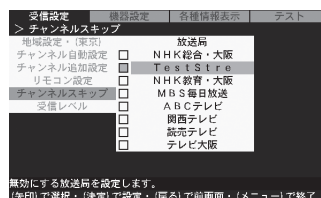
4 (上下左右)で登録したい放送局を選び、(決定)ボタンを押す

選んだ放送局が指定のチャンネル(ボタン)に割り当てられます。

5 手順3、4を繰り返し、各放送局をお好みのチャンネル(数字)ボタンに割り当てる

6 設定が完了したら、(メニュー)ボタンを押して操作を終了する

チャンネルスキップを登録する

チャンネルスキップを登録して、特定のチャンネル(放送局)が視聴できないようにすることができます。

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右で「受信設定」の「チャンネルスキップ」を選び、決定ボタンを押す

3 上下でチャンネルスキップを設定したいチャンネル(放送局)を選び、決定ボタンを押す

・チャンネルスキップを設定したチャンネル(放送局)は、左の□が橙色で表示されます。
・チャンネルスキップを設定すると、そのチャンネル(放送局)を視聴できなくなります。
・この手順を繰り返して、チャンネルスキップを複数のチャンネル(放送局)に設定することもできます。

4 メニューボタンを押して操作を終了する

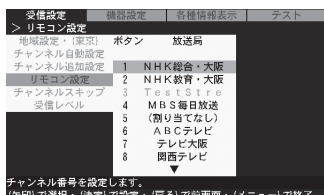
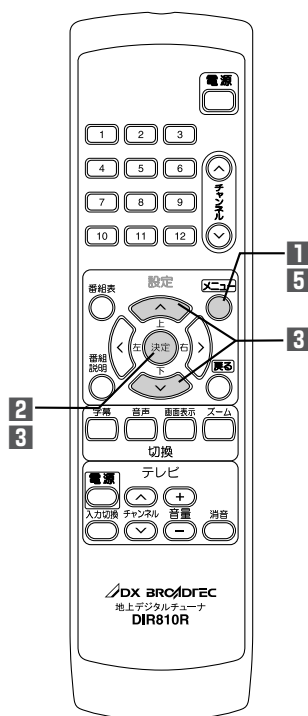
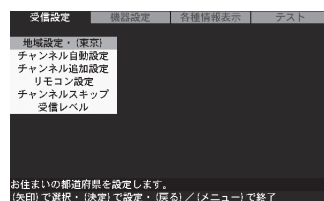
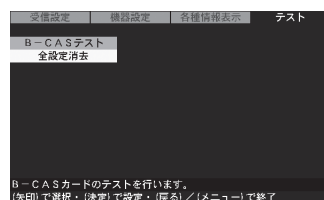
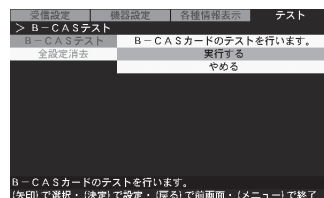
チャンネルスキップを解除するとき

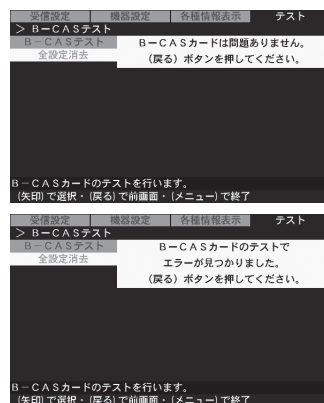
- 手順3の操作において、チャンネルスキップを設定したチャンネル(放送局)を選んで、もう一度決定を押すと、チャンネルスキップが解除されます。

お知らせ

- チャンネルスキップを設定したチャンネル(数字)ボタンを操作した場合は、「このボタンはチャンネル登録されていません」という表示が出ます。

このボタンはチャンネル登録されていません

- チャンネル∧／∨ ボタンを操作した場合も、チャンネルスキップを設定したチャンネル(放送局)は選局できません。
- チャンネルスキップを設定したチャンネル(放送局)はチャンネルボタンの登録を手動で変更する 24 において「リモコン設定」を表示したときに、薄い色で表示されます。

B-CAS カードのテストを行う

1 メニュー ボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 （上下左右）で「テスト」の「B-CAS テスト」を選び、（決定）ボタンを押す

3 （上下）で「実行する」を選び、（決定）ボタンを押す

4 カードに問題がない場合は、「B-CAS カードは問題ありません。（戻る）ボタンを押してください」とメッセージが表示されます

・カードに問題がある場合は、「B-CAS カードのテストでエラーが見つかりました。（戻る）ボタンを押してください」とメッセージが表示されます。このような場合はメニューを終了して AC アダプタをコンセントから抜いた後、B-CAS カードを入れる 12 を参照になり、B-CAS カードが奥まで確実に差し込まれているかを確認してください。

5 テスト結果を確認し、メニュー ボタンを押して操作を終了する

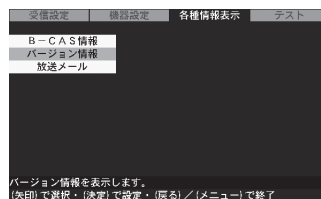
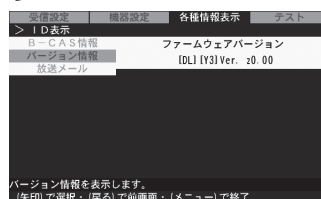
● 手順 3 で「やめる」を選択すると、テストを実行せずに「B-CAS テスト」を終了します。

各種情報を確認する

バージョン情報を確認する ＜本機のソフトウェア情報＞

1 メニュー ボタンを押して、「設定メニュー」を表示させ

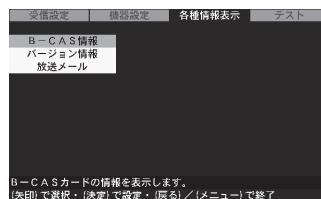
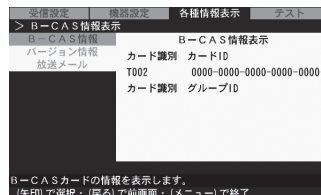
上下左右 で「各種情報表示」の「バージョン情報」を選び、

決定 ボタンを押す

2 バージョン情報が表示されます

3 メニュー ボタンを押して、操作を終了する

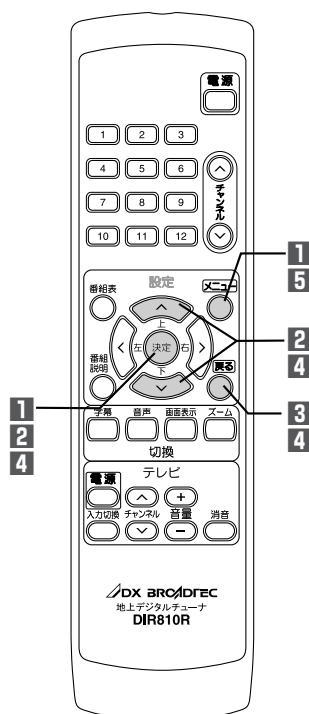
B-CAS 番号を確認する

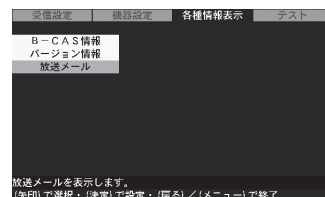
1 メニュー ボタンを押して、「設定メニュー」を表示させ

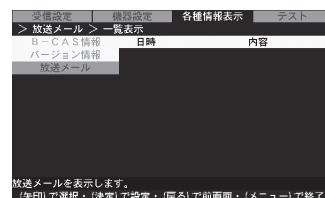
上下左右 で「各種情報表示」の「B-CAS 情報」を選び、

決定 ボタンを押す

2 B-CAS 情報が表示されます

3 メニュー ボタンを押して、操作を終了する

放送メールを確認する

放送局などから、視聴者にお伝えする情報などが「放送メール」として送信される場合があります。
また、ソフトウェアのダウンロード 30 が完了した場合も、ダウンロードが完了したことを「放送メール」としてお伝えします。

1 メニューボタンを押して、「設定メニュー」を表示させ

で「各種情報表示」の「放送メール」を選び、

決定ボタンを押す

2 で確認したいメールを選び、決定ボタンを押す

3 メールの内容を確認し、戻るボタンを押す

4 手順**2**、**3**を繰り返し、確認したいメールを選び、情報を見る

5 メニューボタンを押して、操作を終了する

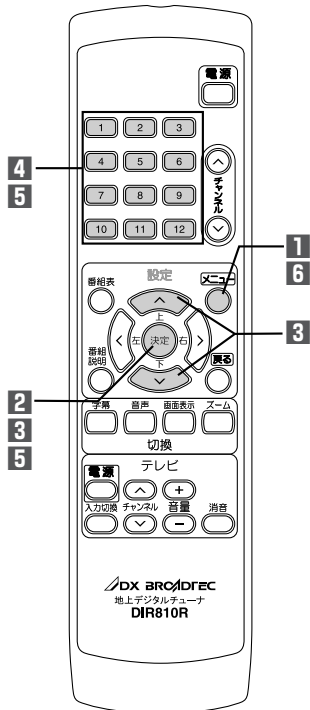
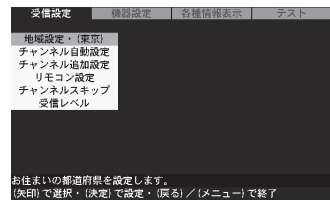
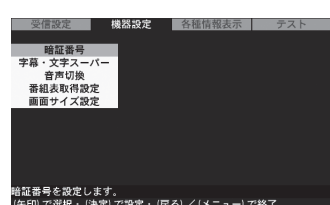
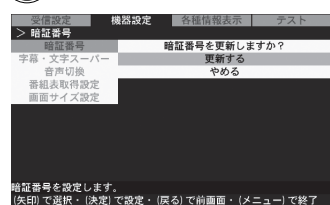
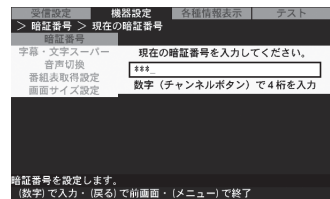
お知らせ

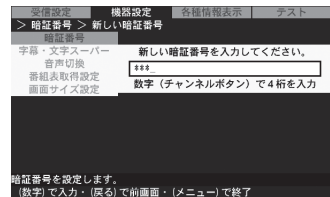
- 放送メールは最大7通まで保存され、以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。
- 放送メールは手動で削除することはできません。

暗証番号を設定する

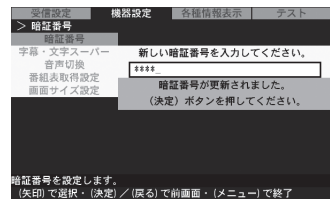
数字４桁を暗証番号として設定します。地上デジタル放送の全メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻すときに必要になります。（設定内容を初期(工場出荷時)状態にしたいとき 31）

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右で「機器設定」の「暗証番号」を選び、決定ボタンを押す

3 上下で「更新する」を選び、決定ボタンを押す

4 テキストボックスに現在設定されている暗証番号(数字４桁)をチャンネル(数字)ボタンで入力する

工場出荷時の暗証番号は「9999」です。
入力した数字は「＊」で表示されます。

5 テキストボックスに新規に設定する暗証番号(数字４桁)をチャンネル(数字)ボタンで入力する

「暗証番号が変更されました。」とメッセージが表示されます。

受信設定　機器設定　各種情報表示　テスト
＞ 暗証番号
暗証番号
字幕・文字スーパー
音声切換
番組表取得設定
画面サイズ設定
新しい暗証番号を入力してください。
****
暗証番号が更新されました。
（決定）ボタンを押してください。
暗証番号を設定します。
(矢印)で選択・(決定)／(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押して、操作を終了する

お知らせ

- 暗証番号を変更する場合は、変更した暗証番号をメモするなどして、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
  万一、暗証番号がわからなくなった場合は弊社カスタマーセンターにお問い合わせください。

お知らせ

- 手順 4 で入力した暗証番号が設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います」とメッセージが表示されます。このような場合は、戻るボタンを押して操作し直してください。

ソフトウェアのダウンロード

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、本機のソフトウェアを最新の内容に書き換えて、機能の追加や改善を行うためのものです。
本機は地上デジタル放送によるソフトウェアの自動ダウンロードに対応しておりますので、操作や設定を行うことなく常に最新版で更新されたソフトウェアでご使用いただけます。

■ 本機が自動でダウンロードの実施を判断します

・アップデートが必要であることを判断した場合、

ソフトウェアのアップデートが実施されます
xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分 の前後 30 分は待機状態にしてください

というメッセージを表示します。

・表示された時間は、電源切(待機)状態(電源ランプ赤点灯)にしておいてください。
・ダウンロード実行中は電源ランプが橙色点灯になります。故障の原因となりますので、電源ランプが橙色点灯中は電源プラグを抜かないでください。

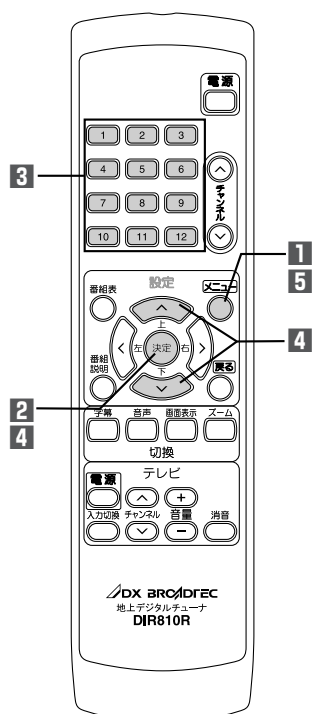
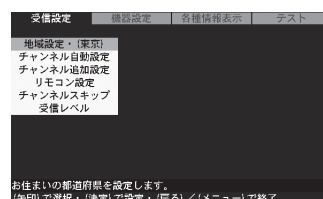
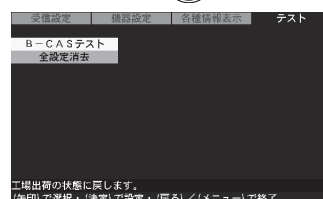
■ ダウンロードが正常に終了すると

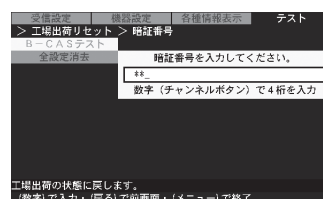
・「放送メール」にダウンロード完了のお知らせが届きます。
・メニューの「放送メール」を選択して確認することができます。
(放送メールを確認する28)

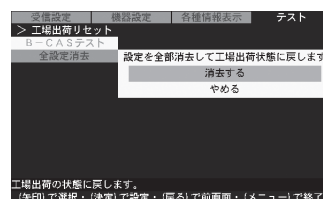
■ ソフトウェアのバージョンを確認するには

・メニューの「バージョン情報」を選択して確認します。
(バージョン情報を確認する 27)

設定内容を初期(工場出荷時)状態にしたいとき

※設定内容(メニュー設定、チャンネル設定)を初期(工場出荷時)状態に戻します。

1 メニューボタンを押し、「設定メニュー」を表示させる

2 上下左右ボタンで「テスト」の「全設定消去」を選び、決定ボタンを押す

3 テキストボックスに現在設定されている暗証番号をチャンネル(数字)ボタンで入力する

工場出荷時の暗証番号は「9999」です
暗証番号の設定方法は、暗証番号を設定する 29 をご覧ください。

4 上下左右ボタンで「消去する」を選び、決定ボタンを押す

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5 メニューボタンを押して操作を終了する

- 手順3で入力した暗証番号が、設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います」とメッセージが表示されます。手順2から操作し直して、暗証番号を入力し直して下さい。
- 手順4で「やめる」を選択すると、初期化を実行せずに「全設定消去」を終了します。

故障かな？と思ったら

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
全般	映像が出なくなったり表示がおかしくなった。 また、急にリモコンが操作できなくなった。	何かおかしいと感じられたときは、本機の AC アダプタをコンセントから抜いて、10 秒程度待ってから再度コンセントに接続し、電源を「入」にしてください。	12
	映像も音もでない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ • AC アダプタが本体から抜けていませんか？ • 本機の電源が「入（緑点灯）」になっていますか？ • テレビの入力切換が、本機を接続した外部入力に切り換わっていますか？	12 12 16 16
	電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ • AC アダプタが本体から抜けていませんか？	12
	リモコンが動作しない	• リモコンの乾電池の極性は正しい向きに入っていますか？ • リモコンの乾電池が、消耗していませんか？ • リモコンは本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。	13 — 13
	映像は出るが、音声が出ない	• テレビの音量調整が最小になっていませんか？ • テレビが「消音」状態になっていませんか？ • テレビのヘッドフォン端子に、ヘッドフォンプラグが差し込まれたままになっていませんか？ • S 映像入力端子は映像用です。これを使うときは、音声端子も接続してください。	16 — — 11
	特定のチャンネルが映らない	• 受信チャンネルは正しく設定されていますか？ • 受信設定の地域設定は正しく設定されていますか？ • アンテナの向きがずれていませんか？ • アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	15 14 11 11
	ラジオに雑音が入る	近くでラジオを使用すると、雑音が入る場合があります。本機、ならびに、テレビから十分に離してご使用ください。	—
	「ピシッ」と音がする	冷暖房時などの室温の変化によりキャビネットが僅かに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
	画面にモザイク（四角のノイズ）がでる	• アンテナの向きがずれていませんか？ • アンテナの前面に障害物がありませんか？ • アンテナおよびアンテナケーブルは適切な仕様のものを使っていますか？ • B-CAS カードは正しく装着されていますか？	11 11 11 12
地上デジタル放送関係	地上デジタル放送が受信できない	• アンテナが正しく設置されていますか？ • 放送関係アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ • 受信設定の地域設定は正しく設定されていますか？ • 受信チャンネルは正しく設定されていますか？ • 地上デジタル放送の受信エリア外ではありませんか？ • CATV ご使用の場合、トランスモジュレーション方式ではありませんか？	11 11 14 15 — 11
	電子番組表（EPG）が表示されない	• 本機の電子番組表（EPG）では、本機内部に事前に受信した内容が表示されます。電源プラグをコンセントに接続した直後などで、番組表データを取得できていないときは、「データ取得中です。しばらく待って操作してください」と表示されます。このような場合は、1 分ほど待って操作をやり直してください。 • 地上デジタル放送を視聴している時は、視聴中のチャンネルの番組表データだけが更新されます。 • 「設定メニュー」の「機器設定」 ー 「番組表取得設定」において、「取得する」を設定すれば、本機の電源がスタンバイ状態中（赤色点灯）に、番組内容が更新されます。	17 17 17
	一部表示されない番組がある		
	字幕や文字スーパーが出ない	• 字幕の設定や文字スーパーの設定が「なし」になっていませんか？ • 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？	21 22 16

メッセージ表示一覧

メッセージ	内容
「このボタンはチャンネル登録されていません」	放送局が登録されていないリモコン番号を押したときに表示されます。 「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
「このチャンネルは受信できません」	非放送番組を選局したときに表示されます。
「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」	受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。 アンテナケーブルが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
「このチャンネルは放送されていません」	選局したチャンネルが「休止中」だったときに表示されます。
「B-CAS カードを確認してください」	B-CAS カードが認識されていないときに表示されます。
「データ取得中です。しばらく待って操作してください」	受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
「(メニュー)ボタンを押してチャンネル設定を行ってください」	地上デジタル放送の受信設定 14 15 を行っていないときや、「全設定消去」を行ったときに表示されます。
「緊急放送が始まりました。(決定)ボタンで切り換えます」	緊急放送が始まったときに表示されます。 決定ボタンを押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
「受信できないチャンネルがあれば、チャンネル設定を行ってください」	該当(お使いの)地域において、チャンネル周波数変更などが実施されるときに表示されます。
「ソフトウェアのアップデートが実施されます xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分の前後 30 分は待機状態にしてください」	ソフトウェアのダウンロードが必要と判断した場合に表示します。 表示された時間は、電源切(待機)状態(電源ランプ赤点灯)にしておいてください。 ダウンロード実行中は電源ランプが橙色点灯になります。このときは電源プラグを抜かないでください。

おもな仕様

品名		地上デジタルチューナ
本体寸法：幅×奥行×高さ		18cm × 13.8cm × 3cm
本体質量		462g
使用電源		ACアダプタ（品番：XKD-C2000IC6.0-12W） AC 100V 50Hz/60Hz DC 6V/2A（最大）
使用温度範囲		0～＋40℃
消費電力 / 待機時消費電力		6.5W / 0.7W
放送	放送方式	地上デジタル放送方式（日本）
	チューナ	地上デジタルチューナ ×1
	チャンネル	地上波：（UHF）13～62ch、（VHF）1～12ch、CATV：C13～C63ch （同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応）
機能	電子番組表（EPG）	○（当日を含め3日分）
	字幕・文字スーパー	○（簡易仕様）
	テレビ画面サイズ切換	ノーマル（4：3）/ ワイド（16：9）
	二重音声／ステレオ	○
入出力端子	アンテナ入力端子	1系統
	ビデオ出力端子	1系統
	Sビデオ出力端子	1系統
	アナログ音声出力端子	1系統

● データ放送／双方向サービスには対応していません。
● ハイビジョン番組は標準画質で表示されます。
● 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用しているソフトウェアについて

● 本機は、著作権保護技術を使用しており、米国マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、米国マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造したりすることも禁じられています。
● 本機には、GPL（GNU General Public License、http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html ）または LGPL（GNU Lesser General Public License、http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html）の適用を受けるソフトウェア
・Linux Kernel（GPL）
・glibc（LGPL）
が組み込まれています。これらソースコードの入手方法については、弊社カスタマーセンターにお問い合わせください。
● 本機には、MPL（Mozilla Public License、http://www.mozilla.org/MPL/ MPL-1.1.html ）の適用を受けるソフトウェア microwindows（ http://www.microwindows.org/ ）が組み込まれています。
● 本機には、The FreeType Project LICENSE（ http://www.freetype.org/FTL.TXT ）の適用を受けるソフトウェア freetype（ http://www.freetype.org/ ）が組み込まれています。
● 本機では画面に表示されるフォントとして、株式会社リコーが制作した TrueType フォントを使用しています。（TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。）

保証と修理サービス

修理サービスについて

- 製品に異常が生じたときには、32ページの「故障かな?と思ったら」をお読みになり、点検してください。
  点検を繰り返しても正常に動作しないときは、お買いあげの販売店またはお近くの当社支店、営業所にご相談ください。
- ご転居のときは事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときには、この取扱説明書の裏表紙の営業所をご覧のうえ、お近くの当社支店、営業所へご相談ください。

補修用性能部品について

- このデジタルチューナの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。

●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

●なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの各支店・営業所にお問い合せください。

裏表紙に記載している保証書に必要事項をご記入ください。

●無料修理規定

1.保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。

2.次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。

①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。

③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。

④故障の原因が本製品以外の部分（例えばテレビ等）、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。

⑤一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。

⑥本保証書が添付されていない場合。

⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

3.本保証書は日本国内にのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

4.期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。

5.お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

6.この保証書によって保証書を発行しているもの（保障責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

注意事項

- 地上デジタル放送を受信するためには、対応したUHFアンテナが必要です。詳しくは、販売店などにご相談ください。
- 設置および接続が正しく行われている場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建築物が建っていたり、電波が弱い場合などでは、受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。このような場合は、販売店などにご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
- CATV放送は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がCATVパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ入力端子に接続して受信することもできます。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
- マンションなどの集合住宅において共同受信設備をお使いの場合は、地上デジタル放送に対応しているかどうか、管理組合または管理会社などにご確認ください。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話等の機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声など不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- 本機に接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキ等で録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してテレビに出力した場合には画質が劣化する場合がありますが、機器の故障ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本機とテレビを直接接続してお楽しみください。
- お客様がビデオデッキ・DVDレコーダーなどで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 日本国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機は、(社)電波産業会(ARIB)の運用仕様に基づいた仕様となっています。その仕様に変更があった場合、本機の仕様を変更することがあります。
- 本機は、BSデジタル放送、110°CS デジタル放送には対応しておりません。BSデジタル放送および110°CSデジタル放送をご覧になる場合は、別途BSデジタルチューナおよび110°CSデジタルチューナをお求めください。
- 本機の仕様およびデザインは改良などのため予告なく変更する場合があります。
- この取扱説明書に掲載しているイラストや画面表示などは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。

デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地では2006年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが国の法令によって定められています。

2000　2003　2006　2011

地上デジタルテレビ放送

地上アナログテレビ放送

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	B-CASカード番号 (B-CASカードの裏面に表示されています。)	□□□□-□□□□-□□□□-□□□□-□□□□

保　証　書

※印欄に記入がない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。

【DXアンテナ株式会社】
ホームエレクトロニクス営業部

受付時間9:00～17:30(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

首都圏ホームエレクトロニクス営業部	〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル5F ☎(03)3526-5318　FAX(03)3526-5712
近畿ホームエレクトロニクス営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06)6889-1530　FAX(06)6889-1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

営業所	TEL.	営業所	TEL.	営業所	TEL.	営業所	TEL.
・札幌支店	TEL.(011)822-1251(代)	・新潟営業所	TEL.(025)276-2166(代)	・三重出張所	TEL.(059)226-1643(代)	・高松営業所	TEL.(087)868-1222(代)
・旭川出張所	TEL.(0166)37-5830(代)	・茨城営業所	TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店	TEL.(076)261-9988(代)	・松山営業所	TEL.(089)925-3826(代)
・東北支店	TEL.(022)243-2141(代)	・千葉支店	TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所	TEL.(076)422-7878(代)	・山陰出張所	TEL.(0853)24-2343(代)
・盛岡出張所	TEL.(019)636-1581(代)	・木更津出張所	TEL.(0438)23-6281(代)	・大阪支店	TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店	TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所	TEL.(024)921-7131(代)	・柏出張所	TEL.(04)7192-1681(代)	・堺営業所	TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所	TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店	TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所	TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所	TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所	TEL.(095)842-0780(代)
・多摩営業所	TEL.(042)572-4911(代)	・浜松営業所	TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店	TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所	TEL.(097)504-7799(代)
・横浜支店	TEL.(045)651-2557(代)	・中部支店	TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所	TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所	TEL.(096)325-0711(代)
・厚木出張所	TEL.(046)225-6102(代)	・松本営業所	TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店	TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所	TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店	TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所	TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所	TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所	TEL.(098)874-6202(代)
・宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100(代)						

(2008年7月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4440